

保健福祉企画総務課長 様

交通政策課長 山崎 康司

設計支援委員会結果報告書

平成19年5月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	岡山駅地区交通結節点改善事業 都市計画通路岡山駅東西連絡通路新設工事について (東口エレベーターについて)	
設計支援委員からの意見	具体化の結果・状況	
<p>蒲生委員</p> <ul style="list-style-type: none">1階の触知案内板は1階の広場部分を案内すべきである。 <p>田中委員</p> <ul style="list-style-type: none">地下1階エレベーターホールの触知案内板は、点字誘導を考慮しエレベーター右側が良い。 <p>難場委員</p> <ul style="list-style-type: none">触知案内板の高さは、中心で1.4mとなっているが、県の施設整備基準では1.2mである。 <p>難場委員</p> <ul style="list-style-type: none">地下改札から階段の上側で点字誘導をしているが、階段から2m程度しか離れておらず、危険ではないか。その対策はできているのか。	<ul style="list-style-type: none">1階広場部分を案内します。右側に設置します。触知案内板の高さを中心で1.2mにします。設置位置は柱間隔が3m程度しかなく階段より最大限離して計画しています。 安全対策は方法をお示しいただければ実施します。	

難場委員

・ 一番街内の鋳式の点字誘導は見えにくいので、黄色の点字ブロックとしてほしい。

山本委員

・ 音声案内は、周辺施設と共通とすべきである。

田中委員

・ 少なくとも市有施設(駅・リットビル)は、共通とすべきである。

・ 当該箇所は、通路や駅構内と異なり、店舗内であることから、検討は行うものの、黄色のタイル式は難しいと思われます。

ただし材質はできる限り判別しやすいものを選定します。

・ 音声案内については、すでに通路西端に設置済みのもので同一仕様です。

・ リットビルに設置している音声案内とは、メーカーは異なるものの、同一システムであり、1つのカードで双方が反応します。